

1. はじめに

現代は、家庭の核家族化が進み、少人数の家庭が一般的になっています。親が共働きの場合が多く、子供の安全が気になる保護者や、日頃のしつけなどがしっかり行われていない家庭が多いと思われます。また国が行った「社会生活基本調査」によると、全国の子供のお手伝い率は極めて低く、平均で8.9%となっており、高知県は最下位の2.7%となっています。そこで私達は、子供のお手伝い意識のレベルアップをはかると共に、親が安心して子育てができ、えがおでみんが安心してできる社会を目指す「えみシステム」を開発しました。

2. システムの概要

この「えみシステム」では、チェックリストを用いて子供の生活習慣を自発的に学習させたり、子供の写真が添付されたメールで、親が子供の帰宅を確認したりすることができます。また、各家庭のデータを収集するため、他の家庭との比較や子供のお手伝いの状況を、インターネットを通じて親や遠方に住む祖父母宅からも、確認することができます。



図1 子供の操作画面(iPad)

3. 子供が使用する端末(iPad)

子供でも簡単に操作できる iPad の画面に、イラストでお手伝い内容や習慣付けさせたい内容を表示します。達成できたら子供がチェックを入れ、両親が家に帰った後、子供がきちんとお手伝いなどができていたかを

確認し、できていなければチェックを外し、チェックの数でおこづかいが変動します。この iPad のアプリでは、兄弟姉妹の状況を、えみシステムサーバと連携して一括管理することができます。

4. サーバシステム

初回起動時、端末ごとに固有 ID を生成し、サーバには毎日全国の家からその日の実績が送信され、データベースに蓄積されます。また、多くのデータを収集するので地域別、年齢別等で様々なデータを閲覧でき、これらを参考にした親の子育て支援が可能となります。

祖父母は PC やタブレット端末のブラウザから、えみシステムの Web サイトに ID を入力することにより、孫のお手伝いの状況を見ることができます。

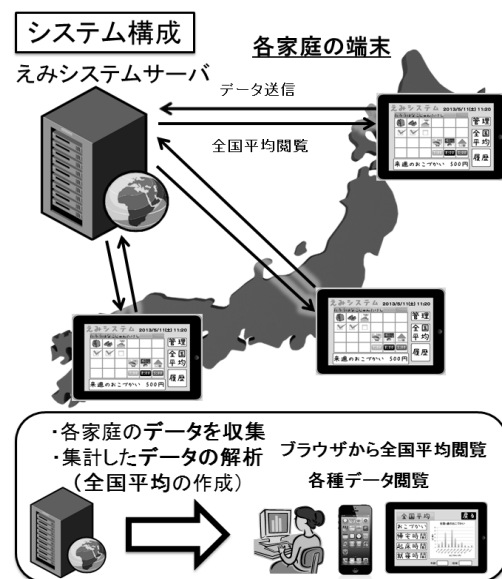


図2 システム構成図

5. おわりに

本システムは、ICT を用いて子育てをしている家庭を支援するもので、明るい少子高齢化社会を目指し、お手伝い率の向上に有用なものであると考えています。特に初めての子育てで、おこづかいの金額や就寝、門限時間などがわからなくても「えみシステム」によって全国平均を参考にした子育てが可能になります。